三校

「金融リテラシー」身に付け資産形成を確定拠出年金活用など増加傾向

㈱ハンズ

最近、携帯の配信情報を見ていると投資・貯蓄、金融リテラシーというワードがよく目に留まります。特に若い世代が、携帯アプリを活用して、いとも簡単に口座開設し「資産形成や管理」している状況は、43歳の私にとって「世代ギャップ」という言葉で単純に片付けられない「大きな社会変化」と感じています。

私は学生時代に金融に関して教育を受けた記憶が全くありません。そのはずです。ある統計によると「金融に関する教育を受けた経験のある人」は、わずか10％です。直近で個人保有する家計金融資産は、過去最高1900兆円ですが、その内54％が現預金と、「資産形成や管理」に対する認知度も低い現状です。

◎そもそも「老後2000万円問題」って

2019年話題になった「老後2000万円必要問題」金融庁金融審議会等の報告書「高齢社会における資産形成・管理」に於いて「老後20～30年間で約1300～2000万円不足する」という試算が発表されました。そこで私達は「人生百年時代、老後資金をどのように形成していくか」を考えるきっかけになりました。資産形成のいくつかのポイントは、(1)公的年金制度への理解を深めること。(2)ライフプランシミュレーション等を通して自身の現状を「見える化」してみること。(3)そのうえで「資産形成・管理」「金融リテラシー」を正しく身に付けていくことです。

◎税優遇効果を生かしやすい確定拠出年金

2001年から掛け金の運用が始められました。「日本版401k」と言われ、日本の年金制度上最上位の第三階の位置付けです。大きく個人型と企業型の二種類があり個人型は愛称iDeCo（イデコ）、昨年度末時点での加入者数は156万人、企業型も724万人と共に増加傾向です。個人として「資産形成・管理」、企業として「福利厚生」それぞれの選択肢の一つとして活用されています。

◎エンゲージメント

「福利厚生」を重視する求職者は多くなっています。若くて優秀な人材の確保をする為に「福利厚生の充実」は中小企業にとって重要な課題です。「一人ひとりの熱意や活力が溢れる職場」「自発的貢献意欲」「自律的成長」こそ我々、中小企業の成長エンジンです。優秀な人材は家計でも自分自身で人生設計を描き、自己研鑽していきます。

企業として従業員として「いい会社」を一緒に目指していくお手伝いができれば幸いです。

「一人ひとりの熱意活力あふれる職場」こそ我々、中小企業の成長を支える！

ほんとに「いい会社」を目指す福利厚生制度

選択制　期間限定ご相談無料!!　企業型確定拠出年金

『広島の事業主』のみなさまに企業年金制度を積極的に導入して頂くため

ポイント①　最低**2名様からのご加入**を承っております

▸経営者さまの声
「所得税」、「住民税」更には「社会保険料」も適正に軽減される可能性があり、従業員たちにも大変喜ばれています。自社の採用PRポイントにもなっています。

地域密着の私たちだからこそのサービスをご提供するため

ポイント②　社労士、税理士、FP・RMプロ等 **専門家と連携**

ポイント③　**中長期的に個別**研修・相談もおこなっております

▸現場マネージャーさまの声
社員一人ひとりが正しい知識と判断力を身に付け、自分自身で人生設計を少しずつ考えるようになり、前向きな意識の変革が仕事の成長にも繋がってきていると思います。

運営管理機関
あいおいニッセイ同和損保
MS&AD INSURANCE GROUP

代表事業主
HANDS　お気軽になんでもご相談ください
お問合せ先
ハンズ401k事業部 担当 和田　082-544-6311